

# 令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・  
指定都市名

熊本県

学校名

玉名市立玉陵中学校

人権課題

子供

対象学年・  
取り扱った教科等

全学年・総合的な学習の時間

目標・人権教育のねらい

- ・人が幸せに生きるための自由や権利、人との関わりなどを身近で具体的なことと結びつけて理解する。
- ・自分や他の人たちをかけがえのない存在ととらえ、大切にできる態度を育てる。
- ・相手の意見を受け止め、自分の意見を素直に伝えることができる。

実施した内容

- ・人権集会に向けて各クラスで「クラスの人権宣言づくり」に取り組む。（1時間）
- ・小学校、中学校合同で人権集会を行う。（1時間）
- ・人権集会を受けて人権作文を書く。（1時間）
- ・人権作文を基にクラスや学年を振り返る。（1時間）

工夫した点

- ・生徒の主体的な取組とするために、「クラスの人権宣言」を掲示して常に意識できるようにした。
- ・集会においては、発表した生徒に対して自分のこれまでの体験を重ねて思いを伝えるように指導した。
- ・人権が尊重される学校づくりを総体的に進めるために、小学校と合同で集会を実施した。

他教科との  
関連

社会科において、基本的人権について学習した。

# 令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・  
指定都市名

熊本県

学校名

玉名市立玉陵中学校

人権課題

高齢者、障害者

対象学年・  
取り扱った教科等

3年・総合的な学習の時間

目標・人権教育のねらい

- ・ 高齢者や障害者に対する偏見や思い込みを取り除き、互いの人権を尊重し、共に生きていく意識を育てる。
- ・ 高齢者の現状や課題、障害者の現状や課題について理解を深める。
- ・ 高齢者や障害者に対して、自分たちができることを話し合い、合意形成を図ったり、意志決定したりする。
- ・ 相手の立場になって考え、思いやりの心を持って行動する意欲・態度を養う。

実施した内容

- ・ 玉名市社会福祉協議会の方から、福祉について話を聞く。
- ・ 視覚障害者の疑似体験をし、障害者への理解を深める。（2時間）
- ・ 包括支援センターの方から、認知症について話を聞く。
- ・ 認知症の方の困り感を話し合い、相手の気持ちを理解する。（2時間）
- ・ 体験や話し合いを通して学んだことをまとめ、自分たちにもできることを考える。

工夫した点

- ・ 活動に当たり、人権教育に視点をあてた評価の基準（「体験を通し、高齢者や障害者の思いに気づいている」「自分たちにできることや取り組んでいきたいことを考え、発表しようとしている」「他者の痛みや感情を共感的に受け入れ、考えを発表しようとしている」）を設定した上で行った。
- ・ 疑似体験とサポートする立場を体験することで、自分にできることを考え、今後の具体的な行動に結びつけた。

他教科との  
関連

- ・ 社会科にて、基本的人権について学習した。高齢者と障害者については一緒に取り組んだ。

# 令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・  
指定都市名

熊本県

学校名

玉名市立玉陵中学校

人権課題

同和問題

対象学年・  
取り扱った教科等

1年・総合的な学習の時間

目標・人権教育のねらい

- ・ 部落差別がつくられた差別であり、差別をする人がいるから差別が現存していることを理解する。
- ・ 部落の人々の生きざまから、人間としての優しさや仲間としてのつながり、差別に負けない強さやたくましさを学ぶ。

実施した内容

- ・ 部落差別がつくられた差別であることや、部落の人たちがどのような仕事をしていたのかを学び、その高い技術が私たちの生活につながっていることを学習した。
- ・ 教材「山の粥」（解放出版社）を学習し、部落の人たちが厳しい差別の中で生きていくために、創意工夫し、さまざまな文化を生み出した力強さや、命を尊び合いながら生きてきたことを学習した。

工夫した点

- ・ 教材文に入る前に、銀閣や竜安寺、解体新書など部落の人々の活躍や文化が今の自分たちの生活にも生かされていることを取り上げた。
- ・ 「山の粥」では、生徒に教材文の「月のない夜」の意味について考えさせることによって、当時の部落の人々の命を大切にする思いを感じさせた。

他教科との  
関連

社会科の歴史学習の中で学習した。

# 令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・  
指定都市名

熊本県

学校名

玉名市立玉陵中学校

人権課題

ハンセン病患者等

対象学年・  
取り扱った教科等

1年・総合的な学習の時間

目標・人権教育のねらい

- ・ハンセン病に対する誤った認識を取り除き、ハンセン病に対する正しい認識を持てるようにする。
- ・ハンセン病回復者及びその家族の人権についての基本的認識を深める。
- ・ハンセン病回復者及びその家族の人権回復の視点から、学びを深め、生徒に差別や偏見を許さない心情や態度の育成を図る。

実施した内容

- ・ハンセン病に対する正しい知識と、歴史について考える。(1時間)
- ・「国立療養所菊池恵楓園」について知る。(1時間)
- ・ハンセン病回復者及びその家族の方の思いを知り、自分たちにできることについて考える。(1時間)

工夫した点

- ・ハンセン病に対する誤った認識のために、患者やその家族の方々が苦しまれてきたことを伝える。また、ハンセン病回復者の方々が社会復帰されている姿にも触れる。

他教科との  
関連

社会科において、基本的人権について学習した。

# 令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・  
指定都市名

熊本県

学校名

玉名市立玉陵中学校

人権課題

インターネットによる人権侵害  
(新型コロナウイルス感染症に関する偏見・差別)

対象学年・  
取り扱った教科等

1年・総合的な学習の時間

目標・人権教育のねらい

- ・新型コロナウイルス感染症に関する正しい知識を得る。
- ・正確な情報を基にした正しい行動ができるようにする。
- ・不安や恐れのはげ口として差別をしてはいけないことを理解する。
- ・何があっても差別をしない、差別をさせない、差別を許さない態度を養う。

実施した内容

- ・新型コロナウイルス感染症について正しく知る。
- ・感染者やその家族、接触者、医療従事者、又はワクチン未接種者に対し、不確かな情報に基づき、SNS上で誹謗中傷している具体的事例を提示し、問題点を考える。
- ・正しく判断し、正しく行動するための意見交換をする。

工夫した点

実際のSNS上でのやりとりを示すことで、問題点を具体的に話し合うことができた。また、著名人や熊本市などが発信している差別をなくすためのPR動画を視聴し、具体的な取組の例を考えさせた。その後感想を書かせて、意見交換をすることで、全員が多様な意見に触れることができた。

他教科との  
関連

特別の教科 道徳

# 令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・  
指定都市名

熊本県

学校名

玉名市立玉陵中学校

人権課題

北朝鮮当局による拉致問題等

対象学年・  
取り扱った教科等

2年歴史・3年公民（社会科）

目標・人権教育のねらい

- ・世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには、国際協調の観点から、国家間の相互の主権の尊重と協力、各国民の相互理解と協力が大切であることを理解させる。
- ・世界平和と人類の福祉の増大について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を育成する。

実施した内容

- ・2年歴史的分野では、1990年代初めや平成の時代の日本では、政治と経済、東アジアとの関係の面でどのような変化が起こったか、写真やグラフの資料から読み取り考察した。
- ・3年公民的分野では、これからの外交政策、特に近隣諸国との間で解決すべき課題について、日本がどのように取り組むべきか、また国際社会で日本が果たすべき役割は何かを考察し、発表させた。

工夫した点

- ・拉致問題から、東アジアや近隣諸国へ視点を広げ、課題解決に向けた取組や、今後の日本の外交政策等について、多くの意見を出させた。
- ・拉致被害者が帰国した時の写真から、感じたことや読み取れることを発表させた。

他教科との  
関連

特別の教科 道徳

# 令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・  
指定都市名

熊本県

学校名

玉名市立玉陵中学校

人権課題

性的指向、性自認

対象学年・  
取り扱った教科等

3年・総合的な学習の時間

目標・人権教育のねらい

- ・多様な性について理解し、個性を尊重する心情を育てる。
- ・LGBT等少数派の人に対する無理解や偏見をなくす。

実施した内容

- ・性の4つの要素「体の性」「心の性」「性的指向」「性別表現」について考える。
- ・LGBTや性的マイノリティについて知り、いろいろな性があることを確認する。
- ・それぞれが多様な個性のある存在であることを確認し、差別や偏見をなくす。

工夫した点

- ・正しい知識を得ることができるよう、「ホモ・レズ」等の略称ではなく、ホモセクシャル、レズビアン等正式名称を使用するようにした。
- ・生徒主体の取組にできるような支援を行った。
- ・自他の人権を守るための実践行動につなげるために、ピンクシャツデーの取組に全生徒で参加することにした。

他教科との  
関連

- ・生徒会活動でのピンクシャツデーの取組

# 令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・  
指定都市名

熊本県

学校名

玉名市立玉陵中学校

人権課題

その他（水俣病をめぐる人権）

対象学年・  
取り扱った教科等

1年・総合的な学習の時間

目標・人権教育のねらい

- ・水俣病の発生原因や症状、水俣病に関する偏見や差別等についての正しい知識を持てるようにする。
- ・差別に立ち向かう生き方や水俣病を克服して環境都市を目指す人々の前向きな姿を知り、差別や偏見のない社会を実現する態度を育てる。

実施した内容

- ・発生原因や症状、偏見や差別等についての正しい知識を知る。（1時間）
- ・差別に立ち向かう人々の前向きな姿を知る。（1時間）
- ・差別や偏見のない社会を実現する生き方について考える。（1時間）

工夫した点

- ・学習資料として熊本県作成の「はじめて学ぶ水俣病」を使用した。
- ・水俣の中学生に対し差別的発言があった事例を、実際の新聞記事を使って取り上げた。
- ・水俣市の現在の様子や環境モデル都市としての取組にも触れ、水俣をプラスのイメージで捉えられるようにした。

他教科との  
関連

理科：生命尊重の大切さを認識し、科学的・客観的に物事を捉える力を養う。  
社会：身近な人権問題に関心を持ち、社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。